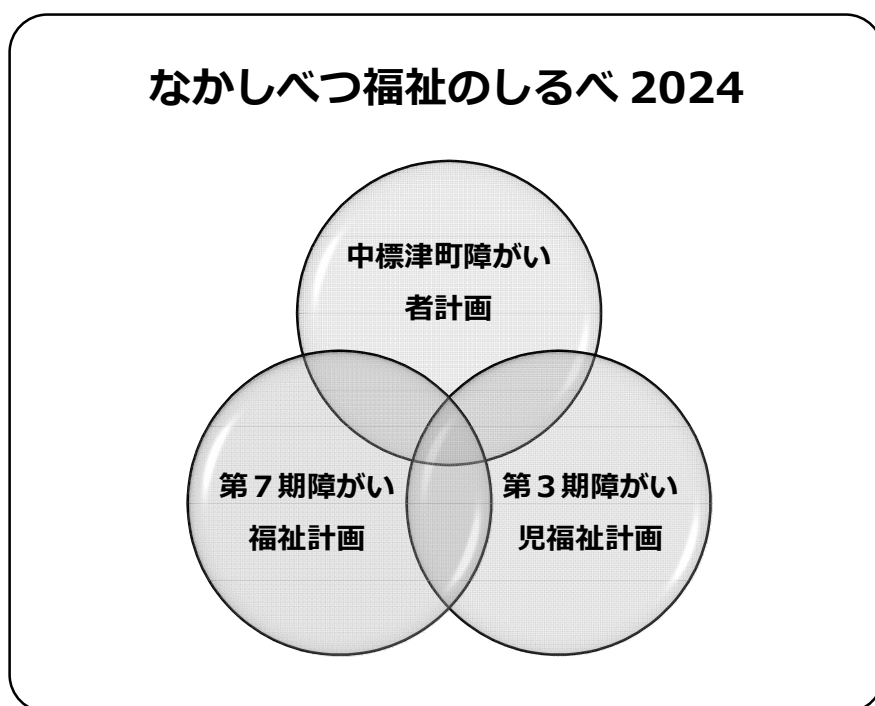


計画の愛称について

「中標津町障がい者計画」「第7期障がい福祉計画」及び「第3期障がい児福祉計画」を包括的に策定するにあたって、以下のとおり愛称を採用します。

愛称：「なかしべつ福祉のしるべ 2024」



(注) 正式名称は、それぞれの計画の名称とします。

【意味】

「福祉のしるべ」とは、中標津町の“標（しるべ）”の文字と、本計画がこれからの障がい者施策の“道標（みちしるべ）”になるという意味から、この2つの言葉を掛け合わせたものです。

【愛称を付す理由】

- ・親しみやすいイメージを与えられる。
- ・3つの計画をまとめた「呼称」として使用することができる。
- ・末尾に暦年を加えることによって、策定年がすぐにわかる。